



広報

かわち

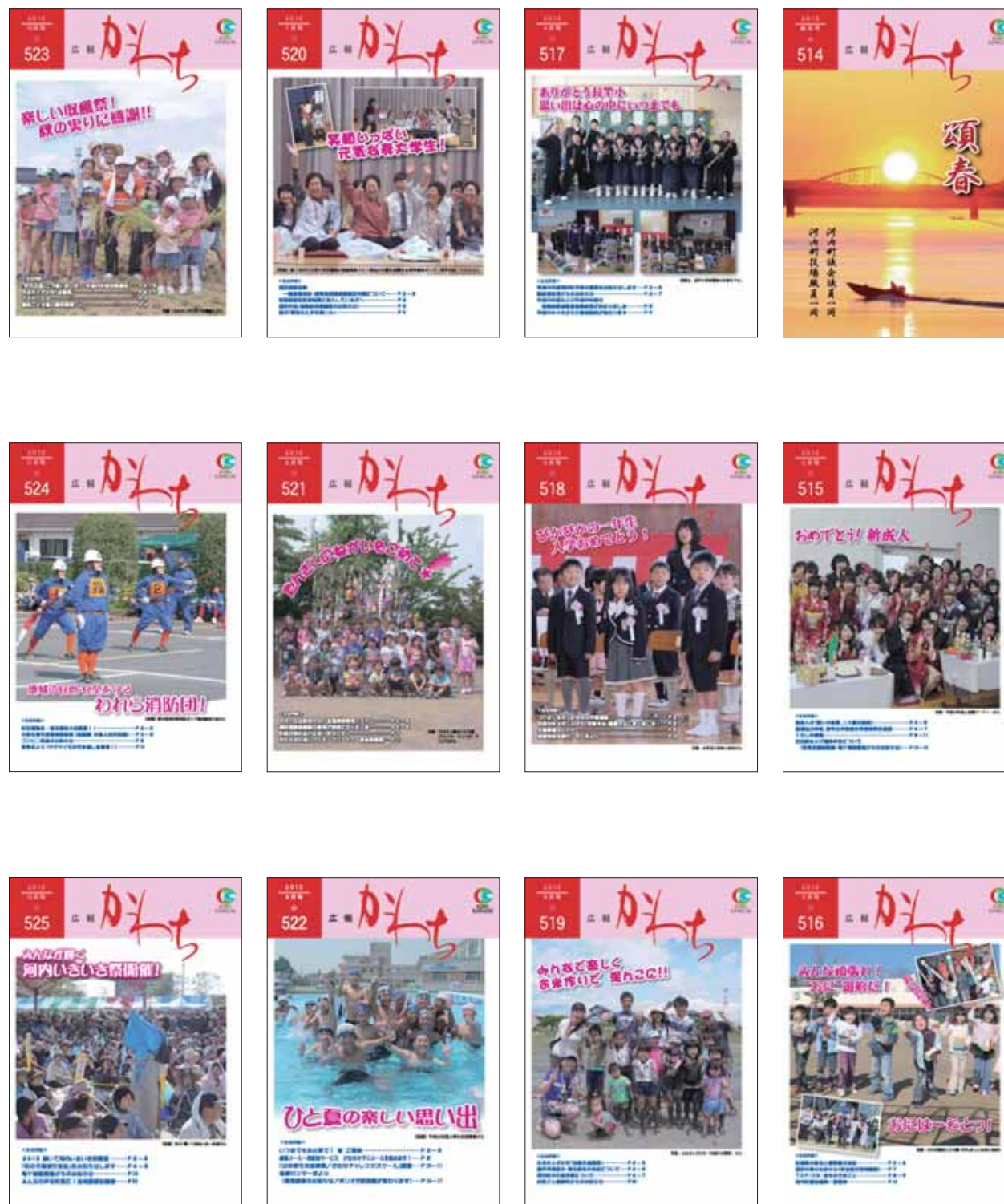


頌春

河内町役場職員一同
河内町議会議員一同

'12年広報かわちバックナンバー

☆ 2012年の広報かわちを再現してみました。☆



編集・発行 河内町役場秘書広聴課
 〒300-1392 茨城県稲敷郡河内町源清田1183
 ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/>
 モバイル版アドレス <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/mobile/index.html>

河内町モバイルホームページ
 QRコード
 ※QRコードは読みとれない場合もあり
 ますのでご了承ください。





河内町長
野高貴雄

新年明けましておめでとうございます。輝かしい2013年の新春をご家族お揃いで迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年のロンドンオリンピックは様々な感動を私たちに与え、被災地をはじめ東日本震災からの復興に励む人々など多くの日本人を勇気づけました。

そして、東京タワーに変わるスカイツリーの開業、日本人のノーベル賞受賞など日本全体を元気づける明るい話題もありました。

海外に目を向ければ、世界のリーダーの交代が相次ぐ中、欧州政府債務危機

新年明けましておめでとうございます。平成25年の年頭にあたり、町議会を代表いたしましたして、年頭のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は東日本震災の復旧・復興需要が支えていても、国内の経済成長率はゼロ成長が続ぎ、極めて厳しい雇用環境が一層悪化し、円高が長く続き企業収益は大幅な減少に加え、消費税の増税が可決されるなど、深刻な課題が山積されました。また一方では、民主



河内町議会議長
廣瀬 裕

は、未だあらゆる方面に影響を与えております。国内においては、昨年突然の衆議院解散によりまして自民党政権が復活した新たなスタートの幕が開きました。景気回復を第一に被災地の復興、原発問題、外交問題、環太平洋経済連携協定(TPP)参加交渉など重要課題が山積しております。

河内町の基幹産業は農業です。第三セクター(株)ふるさとかわちでは、「おかずのいらぬかわちのお米」に加えて、茨城県産地品銘柄米「とねのめぐみ」も知名度を上げ、売り上げも順調に伸びております。今後も農家の経営安定の為、河内町を大いにPRし消費拡大につなげてまいります。

日本は今急激な勢いで少子高齢化が進んでいます。本町では、幼稚園跡地利用といたしまして、子育て世代に向け「河内たいようの里団地」と名付けました子育て支援住宅が本年完成し4月から入居が開始されます。人口減少への対応の必要性が高まる中、安心して子どもを生育できることができ、かつ子どもが健やかに成長できる環境づくりを支援することを目的として設置します。そして、これからも全国的に急速に進行している少子化対策の取り組みの一つとして地域の住宅政策に

党政権は、3度の内閣改造をして不安定な政局に加え、11月の衆議院解散に伴う選挙では野党が圧勝し、自民党を中心とした連立政権が復活し、地域主権の確立がされることを期待した年でした。

国際問題では、尖閣諸島に、中国船が頻繁に往来し、中国人の上陸、反日暴動が中国国内全域で発生した。また、竹島は韓国が占拠して、大統領までもが訪問するなど、固有の領土に対する領有権争いはめどが立たない情勢です。また、北朝鮮による日本人拉致問題においても、解決に至っておらず、さらに衛星打ち上げロケットと称するミサイルの発射、核開発など今後も問題解決のため、よりよい対策を行っていただきたいと思えます。一方、日本人として2年ぶりに山中教授のノーベル生理学・医学賞受賞がありました。夏に行われたロンドンオリンピックでは、2014の国と地域から参加があり幅広い競技で熱戦を繰り広げ、日本代表選手がメダル38個を獲得する大活躍をし、メダルの数では世界6番目を達成し、歓声が沸くという明るい話題もありました。

河内町では、少子高齢化が年々進行

ることを期待いたします。

また、高齢者に知識と教養を高め、充実した生活を送っていた、たこうと創設しました「かわち寿大学」は700名近い学生が誕生し、積極的な社会参加に向けたさまざまな活動が行われています。これからも誰もが住みよく笑顔あふれる町づくりを進めてまいります。

私も昨年関東町村会長に就任することになりました。今まで茨城県町村会長といたしました。地域の声を国政に届ける為に国、県、東京電力等に何度も赴き要望、陳情するなど精一杯努めてまいりました。そして、これからも地域住民と向き合いながら河内町をはじめ、各町村が魅力的な町となるよう地域社会の発展に向け最善の努力をします。

これからも、町民の皆様の積極的ご意見を反映しながら、元氣・やる気です「小さくても、キラリ」と光る大きな町づくり」を目指し、住んでいる町から住みたい町へ全力で取り組んでまいります。どうか皆様方のご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりましてより良い年でありますようご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

し、65歳以上の人が3割を超える現状で、若者の定住を図る必要があります。また、景気の面では、米の作況指数はやや良で、米価は昨年よりは高値でしたが、生産コストには足りない状況で今後の農家の存続も危ぶまれるものがあります。また、県内で強力な竜巻が発生し多くの被害を受けた状況があり、防災対策を強力に進めなければなりません。

このような中、将来の河内町が「若者が定住したい協働の町」になることを目指し、子育て環境の充実などの住民のニーズに応えるため、より一層の対策を講じなければなりません。

そのためには、基幹産業の農業が「活性化」して、潤いのある社会を目指していくことが重要課題と考えます。我々議会一同このような状況を乗り越え、皆様と問題意識を共有し課題解決に全力を傾け、町発展のため、町民の代表として、将来の町づくりに誠意努力する所存であります。

今年一年の皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年も議会に対して相変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。謹んで新年のごあいさつといたします。